

### こどもたちの健やかな成長を心から願って！！

3月3日の『ひな祭り』、5月5日の『端午の節句』にあわせて、公津の杜コミュニティセンターでは、それぞれ『雛人形』と『五月人形』を飾っています。

3月のひな祭りには、1階サロンの階段下と3階わんぱくルームには、7段の雛飾りを飾りつけました。1階サロン階段下の雛飾りには、11月に行われた『花あそびワークショップ ハートのリースづくり』で講師を務めた森川光江さんより寄贈して頂いたドライフラワーのオブジェも一緒に飾られ、より華やかな雛飾りになりました。

5月の端午の節句では、1階図書館の入口前の壁面と3階わんぱくルームに五月人形を飾りつけました。図書館前の壁面には着付教室講師の山口恵子さんにより、帯でカツバタの花を折ったり、こども用の羽織袴の衣装、亀甲などを配置したほか、鳳凰の帯で壁面を飾り付けられました。

3月1日から4月24日までは、「こいのぼりぬり絵コンテスト」の募集が行われ、251匹のこいのぼりが集まりました。王道の配色のこいのぼりやシンプルなもの、個性豊かなこいのぼりなどが集まり、その中から11点の入賞作品が選ばれ、5月1日には表彰式を執り行い、それぞれに賞状と賞品の授与が行われました。



### 恒例イベントを再開しました！

新型コロナウイルスの感染拡大防止のために中止していた「大人お散歩倶楽部」と「KOZU-KIDS チャレンジランキング」を4月に再開しました。

「大人お散歩倶楽部」は昨年の12月以来4ヶ月ぶりの開催となりました。中止中も「いつ再開するの？」という問合せをたくさん頂いており、待ちに待った再開には34名の方が参加しました。



夏日で少し汗ばむくらいの気候のなか、軽い体操と二胡の演奏を聴き、久しぶりのお散歩倶楽部を満喫しました。

「チャレンジランキング」は昨年2月以来の1年2ヶ月ぶりとなりました。今までは、わんぱくルームで実施していましたが、密をさけるため、スタジオや屋上庭園を利用して分散しました。当日は21人のこどもたちが参加し、早い子は1時間前から待つほど熱が入っていました。種目や表彰方法が変わりましたが、大いに盛り上がりました。



### あれから10年！決して忘れない

東日本大震災から10年が経ちました。2017年にはじまった「東北復興支援 week」も5回目を数え、その間にはさまざまな自然災害が起こり、この千葉県も被害を受けました。東北だけでなく、様々な災害からの復興を願うこのイベントは「復興支援 week」と名前をかえたものの、復興を願う気持ちに変わりはありませんでした。しかし昨年に引き続き、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、ホールで行う「光のとびら」「杜の音楽祭」は中止となりました。

今年もギャラリーでの展示のみとなりましたが、防災意識をもう一度高めてもらうように防災情報のパネルや各市町村、赤十字病院などの支援活動の様子のほか、防災グッズなどの展示を行いました。この復興支援 week と12月に行われたクリスマスミュージックフェスタで集まった募金の合計は75,303円。浄財は「いわての学び希望基金」に寄付させていただきました。



### かんたんヘアアレンジ講座開催！

昭和の日の4月29日、会議室では「親子で参加 かんたんヘアアレンジ講座」が行われました。今でこそ、ネットを探せばヘアアレンジの動画がアップさえていたりしますが、ヘアアレンジを自分で習得するのは難しいのではないのでしょうか。ましてお父さんとなれば尚更。そんな親御さんお悩みを解決すべく、髪のプロである美容師が簡単にできるアレンジ方法を丁寧に教えてくれました。公津の杜にある美容室NaNaさんにご協力頂き、くるりんぱやロープ編み、三つ編みを使ったアレンジを完成させました。可愛く仕上がった髪を見てお子さんたちはとても満足している表情を見せていました。



### 母の日にむけて感謝の華を生ける

5月1日、「華道体験教室」が行われました。この日のテーマは8日後に迫った「母の日」。日頃の感謝の気持ちをこめて、カーネーションをメインにアスター、ハラン、ニューサイラン、ローズマリーを花材として、華道家元池坊師範の桜井裕子さん指導のもと自由に生け仕上げました。花器には牛乳パックを使っているのもポイント。牛乳パックはクレープ紙で包み、リボンつけて母の日のプレゼントとしてふさわしいものになりました。お子さん以外にも幅広い年齢層の方々に参加していただきました。感謝の気持ちを表現するのに年齢は関係なく、受け取った人はとても嬉しかったのではないのでしょうか。



## 図書館だより

### ばんざいいちねんせい

図書館では、4月23日の「子ども読書の日」に合わせて、市内の新1年生にブックリスト「ばんざいいちねんせい」を配布しています。

ブックリストでは、1年生になった子どもたちにおすすめの絵本や物語を紹介しています。紹介した本は、公津の杜分館で所蔵しています。

ブックリストをもらった子どもたちが翌日にさっそく来館し、お気に入りの本を借りていきました。

図書館では、特設展示の他にミニ展示を様々なテーマで行っています。司書おすすめの本を紹介しているので、図書館へ来館の際は興味のある本を手にとってみてください。



### アイルランドをより身近に感じる

5月8日から6月10日まで『アイルランド展』が開催中です。成田市がアイルランドパラリンピックチームのホストタウンになっており、アイルランドのことを知ってもらおうと昨年に引き続き2回目の開催となりました。



前回とは内容を一部変更し、他のホストタウンとなった市町村の取り組みや小学生が書いたアイルランド国旗の3色を使った絵などを飾り、中にはコロナが収まったら行ってみたいという声も聞こえました。

### さまざまな作品が集まった春の芸術祭

4月1日から17日まで「春の芸術祭」が行われ、地域の方々の芸術作品が集まりました。

地域の芸術団体「ルシャキパル」の協力のもと、仮名書道やアートフォト、遊書、パッチワーク、風景写真、手工芸などの作品はジャンルを越え会場で統一感を出し、来場者の心を奪いました。別の用事で来館していた子どもが興味を持ち、率先してギャラリーに入っていく様子も見られました。



## なかよしひろばだより

### ホールでおたんじょう会を開催

感染症の影響で昨年は開催を見送っていたおたんじょう会を再開。4月生まれのお子さんとお母さん12組が参加してくれました。

まずはお誕生のお祝いの会。キラキラの冠をかぶって並んだ子どもたちに誕生カードを渡し、この1年間の子どものエピソードをママ達に聞きました。「コロナ禍で大変でしたが無事に成長してくれて嬉しい」「出来ることが増えて楽しくなってきました」とお話ししてくれました。

続いてのお楽しみ会では、パネルシアターや大型絵本の読み聞かせ、わらべうたなど楽しみました。

最後に今月のうた「チューリップ」は、歌うかわりに音符のスティックを音に合わせて揺らしました。

会が終了した後は、誕生日フォトパネルの前で写真の撮影会となりました。

この日のために、素敵なドレスを着てきた女の子は、かわいいポーズで撮ってもらって、ニコニコでした。久しぶりの楽しいイベントを皆さん楽しんでくれたようでした。



### おまけの1枚



ケツメイシの代表曲「さくら」の令和版MVは成田市内の様々な場所で撮影が行われました。当館でも撮影が行われ、MVに出演した伊藤あさひさん、久間田琳加さんからサインを頂きました。サインは1階受付の横にあるので、ぜひ探してください。またMVもチェックしてみてください。

### 編集後記

コロナの影響で、家で過ごす時間が増え、家の中にある不用品を処分する人が増えたと聞きます。とあるフリマアプリを眺めているとお値打ちものを発見！見ると部品が不足していましたが、メーカーサイトでその部品も買えるようなので、悩みに悩んだ挙句購入。中古相場よりかなり安く買えました。(K)

カミュの『ペスト』が再び読まれたという。不条理は遍在し、オランの町の出来事は世界に敷衍した。主人公のリウーは言う「ヒロイズムは問題ではない。ペストと戦う唯一の方法は誠実さなのだ」と。今もそれが問われ続ける。「たまきはる此岸の淵にたたずみて戦ふ人の物語を読む」(T)

公津の杜コミュニティセンター  
(指定管理者 アクティオ株式会社)  
発行人: 田村 修 編集: 鹿嶋 聡明  
〒286-0048 千葉県成田市公津の杜4丁目8番地  
TEL: 0476-27-5252 FAX: 0476-27-5353  
E-mail: info-kozu@morinpiakozu.jp HP: <http://morinpiakozu.jp/>

もりんぴあ  
こうづ  
MorinpiaKozu